

全ての子どもの発達を支える行動支援 「学びとは何か」「ABC分析」

公益社団法人 子どもの発達科学研究所
担当: 研究員 石橋 浩美



© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁止します。

1

学びとは何か

『学び』とは、
半永続的な行動の変化である



© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁止します。

2

学びとは何か

教科の学習で…

- 書けなかった漢字が書けるようになった
- 解けなかった数学の問題が解けるようになった
- 逆上がりができるようになった など

非認知スキルで…

- 言葉遣いが良くなった
- 挨拶ができるようになった
- 友達と話し合って問題解決ができるようになった など



© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁止します。

3

3

学びとは何か

「学び」とは

行動の変化があり

+

それが逆戻りににくい状態

➡ 「学んだ」「学習した」と言える



© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁止します。

4

4

学びとは何か

「学び」の判断方法

1. 外から確認できる行動に変化があったか
2. その変化は「半永続的」かどうか



© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁止します。

5

5

学びとは何か

これは「学び」でしょうか？

授業中、怖い先生がいると静か
その先生がいなくなると、騒ぎだす

- ➡ その場限りの「反応」
- ➡ 恐怖による行動の抑え込み

半永続的な行動の変化ではない = 学びが成立していない



© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁止します。

6

6

学びとは何か

これは「学び」でしょうか？

いじめっ子から学び、いじめが横行

⇒ いじめ行動をしていなかった子どもが、いじめをするようになった。

⇒ これも「学び」

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

7

7

学びとは何か

- 子どもの行動の半永続的な変化を成立させなければならない
- そのとき現れた新たな行動が、社会的に適切なものでなければならない

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

8

8

ABC分析

ABC分析について

「原因」→「行動」→「結果」の流れの中で「行動」をとらえる

- 原因(先行条件):Antecedent
- 行動:Behavior
- 結果:Consequence

先行条件
(原因)

⇒

行動

⇒

結果

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

9

9

ABC分析

ABC分析

子どもの行動が定着するのは、その行動をする条件がそろっていること、その行動の結果、良いことが起こる(もしくは悪いことが起こらない)からと言えます。

先行条件	行動	結果
友達の行動が気になる	しつこく ちょっかいを出す	楽しい！↑
友達とかかわりたい		注目された！↑
授業が分からない		やらなくてもよくなった！↑
おなかですいてイライラする		叱られた↓↑

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

10

10

ABC分析

ABC分析の基本的な考え方

先行条件	行動	結果
	ある行動	

ターゲットの行動が起こる前には、一定の条件がそろっているはずです。その行動を増やしたければ、条件をそろえます。減らしたければ、条件がそろわないようにします。

ターゲットの行動を増やしたければ、その行動をスキルとして意図的に教えることが有効です。
当たりの前に陥らないように

ターゲットの行動を増やしたければ、結果に「良いことが起こる」のが良いです。逆に減らしたい場合は、「良いことが起こらない」にします。

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

11

11

ABC分析

当たりの前

- 「みんなと一緒に」を重んじる
- 「みんなと一緒に」ができて当たり前
- 「当たり前」ができないと叱られる
- 「当たり前」は「当たり前」だから教えてもらえない
- 「当たり前」は「当たり前」だから、できても褒めてもらえない
- 当たり前ができない子どもは・・・？

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

12

12

ABC分析

先行条件に注目しましょう

A:先行条件	B:行動	C:結果
つまらない 楽しい時間	逸脱行動 適切な行動	

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

13

ABC分析

つまり、先行条件へのアプローチとは、
行動の問題のきっかけを取り去ること

たとえば

- 「わからない」を「わかる」にする
- 「暇な時間」を「忙しい時間」にする
- 「難しすぎる」ことを「ちょうど良いくらい」にする
- 「遊んで欲しい」なら、「先に一緒に遊ぶ」こと

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

14

ABC分析

とにかく先行条件を整える！（予防になる）

以下のことを改善する

- 教え方、教える内容
- 活動の難易度、課題設定（目標）
- 活動量・作業量
- 環境設定（刺激の管理）
- 学校風土、家庭の雰囲気、周りとの関係性

レディネスを整える

- 当たり前知っているべきこと、できなければならないことを、改めて教え、確認する
- 子どもの生活全体で考える（睡眠・食事・生活リズム・情緒など）

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

15

ABC分析

今度は行動を考えます

A:先行条件	B:行動	C:結果
わからない	逸脱行動 スキルを使う	

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

16

ABC分析

つまり、行動へのアプローチとは、
別の行動を教えること

たとえば

- 「暴れる」代わりに「質問する」を教える
- 「立ち歩く」代わりに「頼む」を教える
- 「泣く」代わりに「交渉する」を教える
- 「けんかする」代わりに、「話し合う」を教える
- 「ゲームする」代わりに、「別の遊び」を教える

コミュニケーション、余暇スキルが大切だとわかる！

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

17

ABC分析

よい行動を増やすことを考えましょう

A:先行条件	B:行動	C:結果
教えたい適切な行動 *あと少しでもできそうな行動から始めよう！		

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

18

ABC分析

課題分析とは

行動のまとまり(行動連鎖)を小さな行動単位に分解し、時系列に沿って並べること
課題分析をすると・・・

- 手順がはっきりする(いつも同じ手順になる)
- 課題がはっきりする(つまづきの場所がわかる)
- 指示が具体的になる。支援者が変わっても同じになる

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

19

19

ABC分析

一方で結果へのアプローチもできます！

こんなことってありませんか？

注目すること

子どもが好ましくない行動をすると叱る
(例えば、活動中に友達にちよっかいを出しているとき)

子どもが好ましい行動をしていると叱らない
(例えば、活動中に、活動に参加しているとき)

無視すること

注目は褒めると同じです。無視は叱ると同じです。
どうなと思いますか？

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

20

20

ABC分析

「強く叱る」こと(特に体罰・叱責)のリスク

- 「強く叱る」(体罰や叱責)は即効性がある。
すぐに子どもが思い通りになる。
- 叱った人がいるだけで、その行動が抑制される。

先行条件	行動	結果
子どもが不適切な行動をする 指導支援の知識、 スキルがない	叱責 体罰 パワーコントロール	子どもがすぐに言うことを聞く↑ 自分も気分がいい↑ 「指導力がある」と思われる↑ 真実なのか？

叱る側の行動として強化されやすい → 体罰・虐待のメカニズム

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

21

21

ABC分析

支援を入れる

A:先行条件	B:行動	C:結果
先行条件を整える ● 環境設定 ● 刺激の管理 ● 課題の難易度	よりよい行動を教える ● より効率的で、本人がやりやすいこと ● 標的行動を減らすのではなく、別の行動と入れ替える、バリエーションを増やすという発想	不適切な行動は強化しない(消去) 「たんだんと」対応 むしろ適切な行動を強化する

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

22

22

まとめ

「学び」とは何か

- 子どもの行動の半永続的な変化を成立させなければならない。
- そのとき現れた新たな行動が、社会的に適切なものでなければならない。

ABC分析

- 「原因」→「行動」→「結果」の流れの中で「行動」をとらえる。
- 先行条件
ターゲットの行動が起こる前には、一定の条件がそろっているはず。その行動を増やしたければ、条件をそろえる。減らしたければ、条件がそろわないようにする。
- 行動
ターゲットの行動を増やしたければ、その行動をスキルとして意図的に教えることが有効。そのとき現れた新たな行動が、社会的に適切なものでなければならない。
- 結果
ターゲットの行動を増やしたければ、結果に「良いことが起こる」のが良い。逆に減らしたい場合は、「良いことが起こらない」にする。

© Child Developmental Science Research / Confidential / 許可のない複製を禁じます。

23

23

公益社団法人

子どもの発達科学研究所

24